

アーバンデザインセンター の展開

柏の葉アーバンデザインセンター UDCK 2006年10月

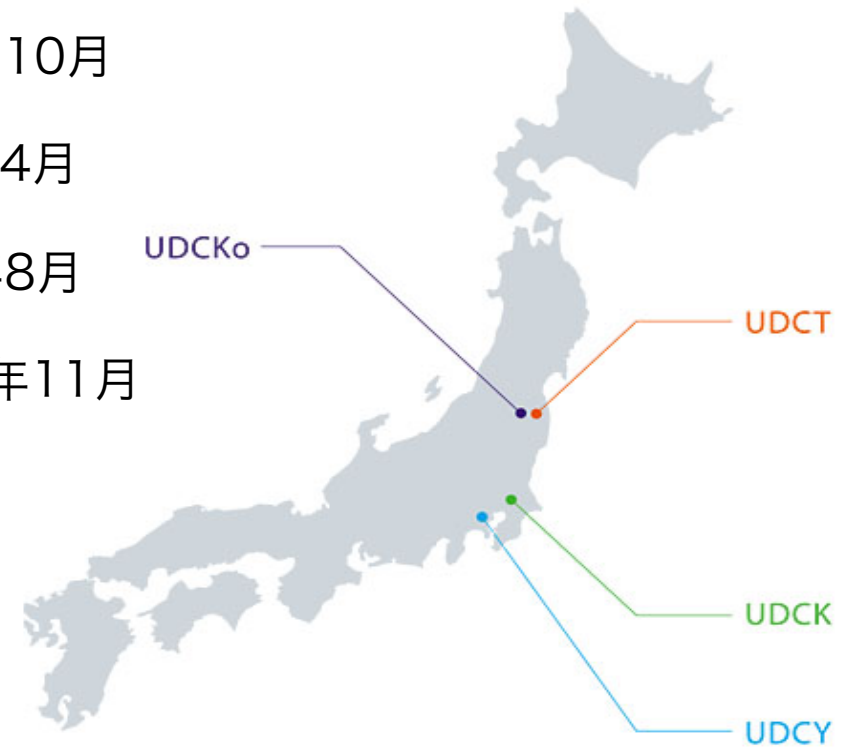
横浜アーバンデザイン研究機構 UDCY 2008年4月

田村地域デザインセンター UDCT 2008年8月

郡山アーバンデザインセンター UDCKo 2008年11月

アーバンデザインセンター会議 2009.9.7

アーバンデザインセンター研究会 2008年度～



Urban Design Center Koriyama

特定非営利活動法人 郡山アーバンデザインセンターUDCKo

並木町会 + 東京大学 + 地元企業

公民学が連携して地方中核都市の再生に取り組む



UDCKo
Urban Design Center Koriyama

第1回 郡山アーバンデザインセンター・コンペティション
郊外の可能性
Revision of Suburbia

賞金総額 100万円

■コンペティションスケジュール【2009】

9月28日(土)	応募締切期日	11月20日(金)	1次審査発表
	審査員発表・本賞額決定	11月下旬	2次審査発表
	141,000円賞金	12月4日(金)	最終発表会
10月18日(日)	説明会	12月29日(土)	入賞者発表
10月30日(日)	審査員発表会・コンペティション終了		

■主催 特定非営利活動法人 郡山アーバンデザインセンター(UDCKo)
■協賛 郡山地区の内外縁の過剰(空室率)の急増を抑制し、健全な成長を促すこと。また、郡山地区の内外縁の過剰(空室率)の急増を抑制し、健全な成長を促すこと。

■審査員 後援部 昌史(建築家、神奈川大学准教授、AIA・AIAA会員)、知野 啓明(建築工学者、日本大学准教授)、本田 善之助(建築プロフェッサー、建築家のネットワーク推進協議会)
■協賛 後援部 昌史(建築家、神奈川大学准教授、AIA・AIAA会員)、知野 啓明(建築工学者、日本大学准教授)、本田 善之助(建築プロフェッサー、建築家のネットワーク推進協議会)
■協賛 後援部 昌史(建築家、神奈川大学准教授、AIA・AIAA会員)、知野 啓明(建築工学者、日本大学准教授)、本田 善之助(建築プロフェッサー、建築家のネットワーク推進協議会)

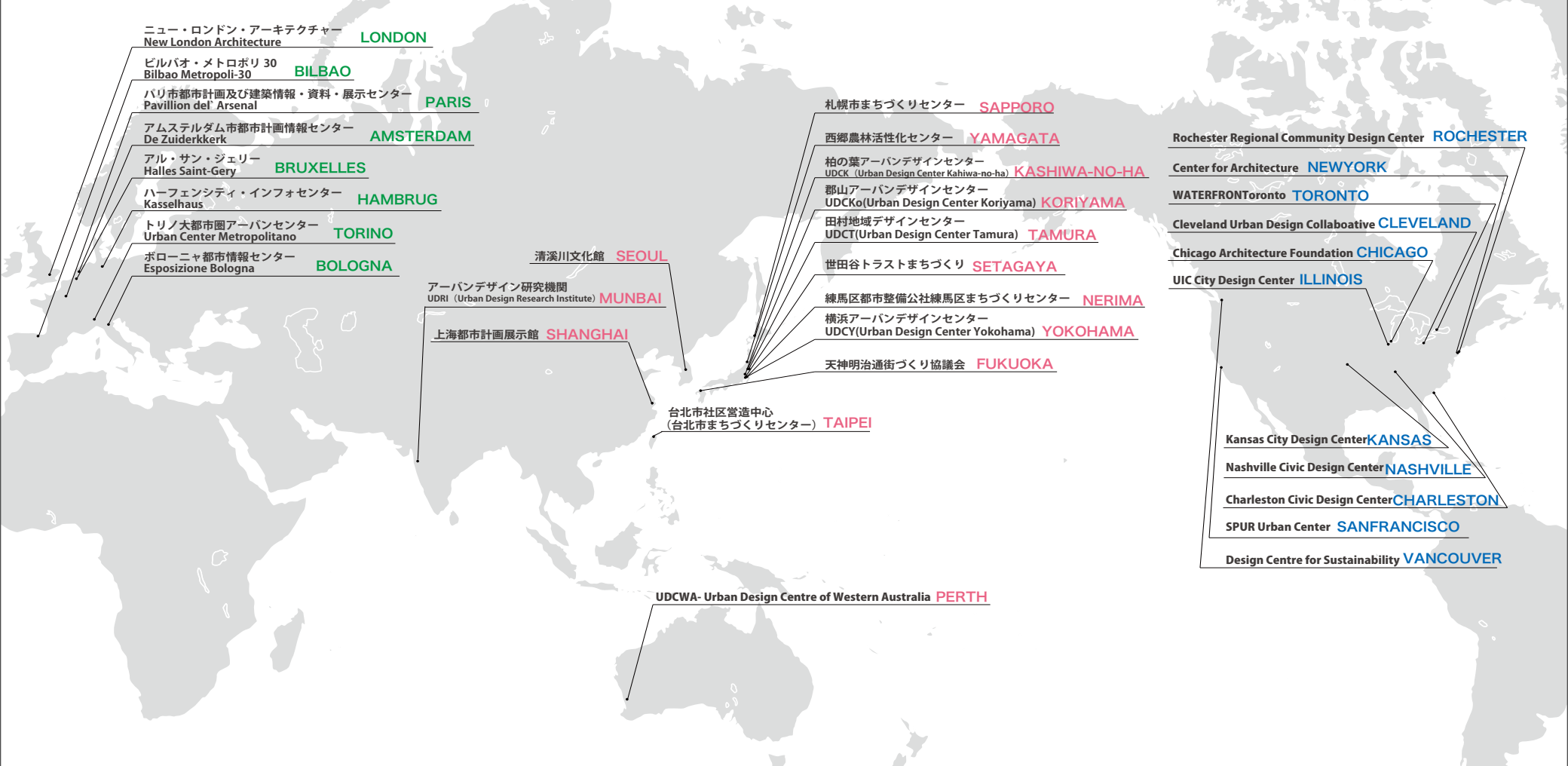
UDCKoとは？

郡山アーバンデザインセンター(Urban Design Center Koriyama)は、福島県郡山を中心とした郡山圏域を再生し、都市デザインを多岐にわたる研究・実践するNPO法人です。その先導者として、郡山地区を対象として具体的に活動しています。並木町会、並木地区の内外縁(過剰)の急増を抑制し、健全な成長を促すこと。また、郡山地区の内外縁の過剰(空室率)の急増を抑制し、健全な成長を促すこと。



バーチャル
インター
フェイス
研究

世界のアーバンデザインセンター



GCOE「都市空間の持続再生学の展開」S3 部会「アーバンデザインセンターの発展戦略」

平成20-21年度研究会

09年01月17日 第一回研究会 於 柏の葉アーバンデザインセンター
09年02月16日 第二回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室
09年03月23日 第三回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室
09年04月21日 第四回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室
09年06月01日 第五回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室
09年06月22日 第六回イギリス勉強会 於 東京大学本郷キャンパス工学14号館8階会議室
09年07月13日 第七回米国西海岸、イタリア勉強会 於 柏の葉アーバンデザインセンター
09年08月04日 第八回ドイツ/フランス勉強会 於 東京大学本郷キャンパス14号館8階会議室
09年09月07日 第一回アーバンデザインセンター会議於柏の葉アーバンデザインセンター
09年10月01日 第九回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室
09年11月06日 第十回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室
09年12月18日 第十一回研究会 於 東京大学本郷キャンパス北澤教授室 予定

イギリス：千葉大学大学院 木村美貴先生
米国西海岸：名古屋大 村山顕人先生 イタリア：千葉大 宮脇勝先生
ドイツ：東北大学 姥浦先生 フランス：江口久美

メンバー

北沢 猛※1	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
作山 康	株式会社都市環境研究所 東京事務所所長
前田英寿※2	柏の葉アーバンデザインセンター 副センター長
遠藤 新	工学院大学 工学部 建築都市デザイン学科 准教授
阿部大輔	東京大学大学院工学系研究科 都市持続再生研究センター 研究員
田中大朗	田村地域デザインセンター 副センター長
田中暁子	東京市政調査会 研究部
松尾美和	ハーバード大学デザインスクール Pollman Postdoctoral Fellow
丹羽由佳理	柏の葉アーバンデザインセンター ディレクター
江口久美	東京大学大学院工学系研究科博士課程（フランス留学中）
楊 恵亘	東京大学大学院工学系研究科博士課程
関谷進吾※2	東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程
全 瑛美	東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程
豊辺将嘉	東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程
竹田恵利加	東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程
小島良輝	東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程

所属と役職は平成21年3月時点、※1：座長、※2：事務局

研究の計画

- 1, 2008年度
 - (1) UDCK・UDCTの活動と評価
 - (2) 文献等による世界的な事例収集
- 2, 2009年度
 - (1) UDCK・UDCTの活動と評価
 - (2) 国内の実例に関する現地調査と分析
 - (3) 国内の類似センターとのワークショップ
 - (4) 海外のUDCに関する調査
- 3, 2010年度
 - (1) UDCK・UDCTの評価と展望（社会実験の終了と次の戦略）
 - (2) UDC国際会議+ワークショップの開催
 - (3) UDCに関する出版（学芸出版：編集者前田様）

2008年度の成果

1 事例収集

国内184、米国67、欧州34、日本除くアジア12。総計297件

2 アーバンデザインセンター（的組織）の類型

意識育成型 展示、シンポジウム、セミナー

上海都市計画展示館（上海・中国）、清溪川文化館（チョンゲチョン・韓国）

活動支援型 市民の支援、地域貢献事業への融資

練馬まちづくりセンター、財団法人世田谷トラストまちづくり、台北市社区营造中心

調査研究型 政策提言やそのための調査

戸田市政策研究(埼玉県戸田市)、さがみはら都市みらい研究所(相模原市)、UDRI(インド、ムンバイ)

構想計画型 地域の将来計画の策定と推進

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）、オハイオ州立ケント大学アーバンデザインセンター
Bilbao Metropoli-30、トリノ大都市圏アーバンセンター（トリノ工科大学建築学科教授）

開発事業型 土地利用の誘致、デザインマネジメント

WATERFRONToronto(カナダ、トロント州)、千葉県幕張ベイタウンデザイン調整会議

エリアマネジメント型 . . 公共空間の管理、地域内公共サービス

大丸有協議会、丸亀商店街(香川県高松市)、ポワン・アンフォ・フラジェ（ブリュッセル）

大学の地域連携型 米国型デザインセンター、まちなか研究室、学内センター

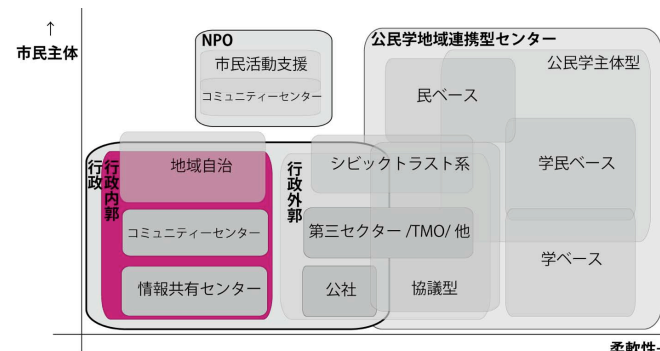
オハイオ州立ケント大学アーバンデザインセンター、トリノ大都市圏アーバンセンター（トリノ工科大学建築学科）
早稲田大学「都市地域研究所」、広島大学「地域連携センター」

1. 意識育成型・情報発信型 展示、シンポジウム、セミナー



上海都市計画展示館（上海・中国）

情報発信や啓蒙教育は、地域まちづくり組織に必須の機能といえる。地域の活動や動向を掲示し、地域模型や構想図を展示する。啓蒙が目的の場合と、地域のリーダー育成を掲げている場合がある。

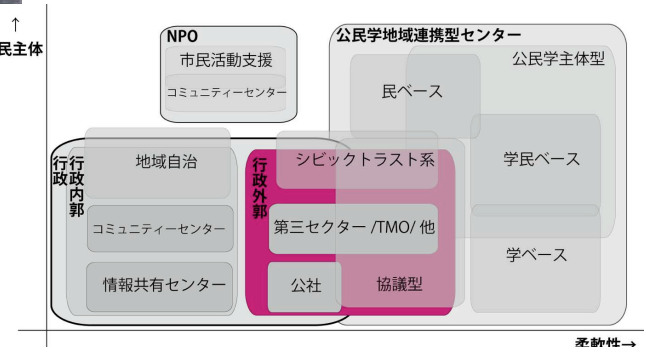


2. 活動支援型 市民活動や地域貢献事業の支援



台北市社区营造中心（台北市まちづくりセンター）

財団や公社のような行政外郭の「まちづくりセンター」には、市民活動に対する人的支援や資金助成を制度化している例が多い。公募により先導的あるいは熱心な市民活動を選び、活動資金を助成し、専門家を派遣する。



柔軟性→

3. 調査研究型 政策提言やそのための基礎調査

UDRI(Urban Design Research Institute インド、ムンバイ)

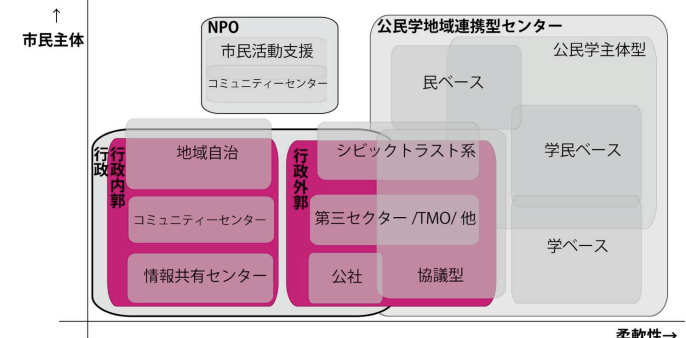


歴史的場所のプロポーザル



歴史的建築の保全研究

行政組織内あるいは外郭にシンクタンクをもつものである。長期的な政策提案や情報の整理蓄積に取り組む例が多い。

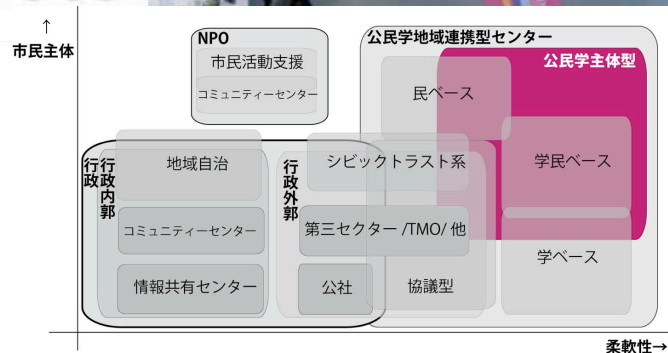


4. 構想計画型 地域の将来計画の策定と推進



トリノ大都市圏アーバンセンター UCM

実施を前提に都市や地域を構想し計画を立案する機能である。行政組織内の都市計画部署と役割分担できると、より客観的かつ長期的な視野で都市政策に関与でき、行政と市民をつなぐ触媒として機能することができる。

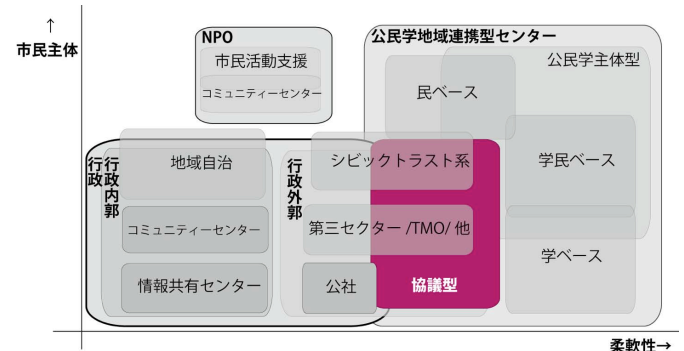


5. 開発事業型 情報発信、デザインマネジメント



ハーフェンシティ・インフォセンター
(ドイツ・ハンブルク)

面的な都市開発事業や大規模な複合建築事業を契機にまちづくり組織が立ち上がることは多い。組合施行の市街地再開発事業や土地区画整理事業では地権者と事業者の組合が必然的に組織されるし、法定の審議会もある。行政が仲介するまちづくり協議会もある。



6. エリアマネジメント型 公共空間の管理、地域サービス

ポワン・アンフォ・フラジェ (ブリュッセル)



ム型アンフォ・フラジェの外観



整備終了後のフラジェ広場

経済の安定化にともない、開発事業の過程は長期化しつつある。また、市民意識の多様化により、開発事業には立場を異にする主体が多く関わるようになった。その結果、まちづくりにとって前段階の仕込みと後段階の管理が重要になっている。このように開発事業を契機に起動するエリアマネジメントがある。



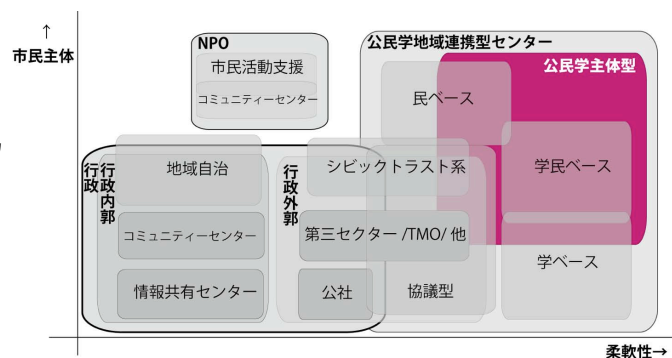
7. 大学の地域連携型 まちなか研究室、学内センター

都市デザイン連盟 (アメリカ・クリーブランド)



Director: Ms. Ruth Durrack氏

大学の都市計画やまちづくりへの関与はこれまでもあったが、とくに国公立大学の法人化の前後から盛んになった。最も一般的なのが研究委託である。委託元の多くは自治体である。大学の研究室が一般市街地に拠点を置くタイプもある。NPO 法人を立ち上げる例や、キャンパス整備を周辺と含めて一体的に行う例もある。



海外研究会 一覧

第1回2009.6.22 イギリスのタウンセンター・マネジメント 千葉大学 村木美貴准教授

第2回2009.7.13 Urban Design in Seattle and Portland 名古屋大学 村山顕人准教授

イタリアの都市計画とマネジメント 千葉大学 宮脇勝准教授

第3回2009.8.4 ドイツにおける地区マネジメントと専門家の役割 東北大学姥浦道生准教授

フランスにおけるUDCに関して 日本学術振興会研究員 江口久美氏

第4回2010.1.21 英国のアーバンデザインとCABE スペースシンタックス 高松誠治氏

第1回アーバンデザインセンター会議 2009.9.7 柏の葉アーバンデザインセンター 109名来場

基調講演：

韓国中央大学建築学科副教授：李 政炯、台湾台北市都市更新処長：林 崇傑

パネラー：

(株)設計計画高谷時彦事務所代表/東北公益文科大学大学院教授：高谷 時彦氏

(財)練馬区都市整備公社練馬まちづくりセンター専門研究員/東京理科大学非常勤講師：杉崎 和久氏

福岡アーバンラボラトリーLLC 代表社員/天神明治通り街づくり協議会総括マネージャー/

We Love 天神協議会 幹事・まちづくり推進部会員：後藤 太一氏

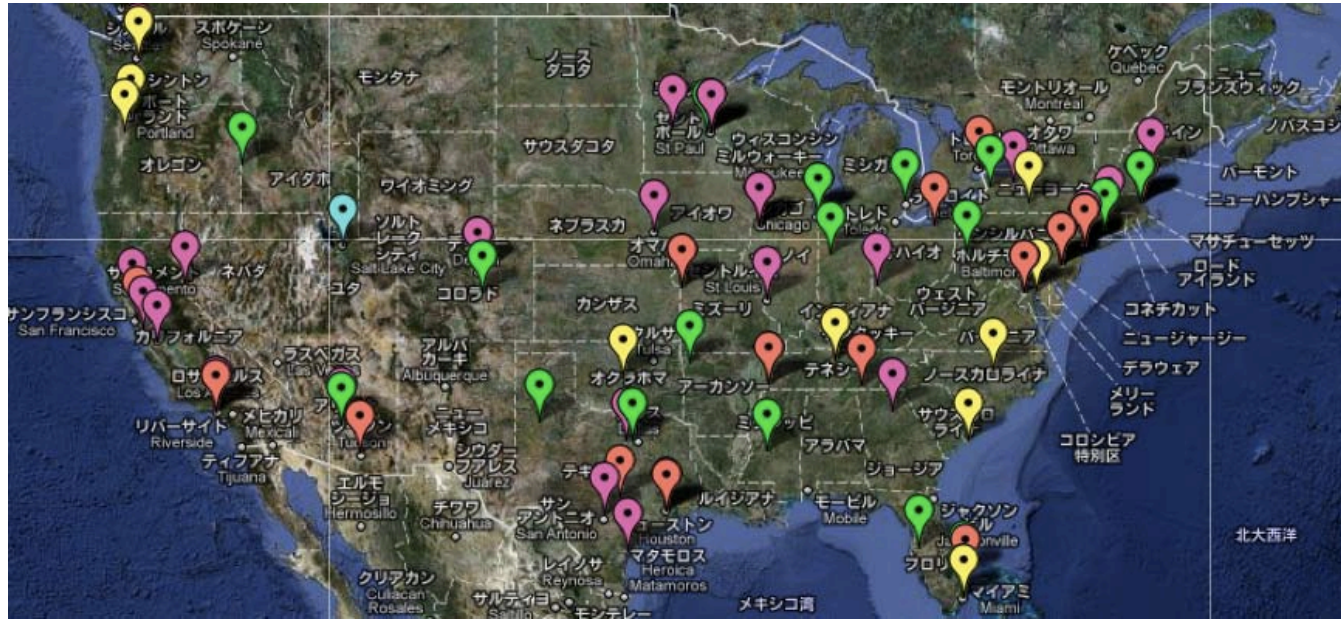
札幌市市民まちづくり局市民自治推進室長：長谷部 英司氏



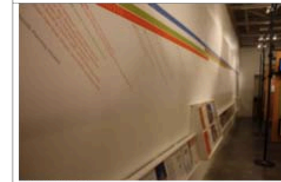
国別分析 1 アメリカ 工学院大学准教授遠藤新、東京大学博士課程関谷進吾

海外研究会：名古屋大学准教授村山顕人

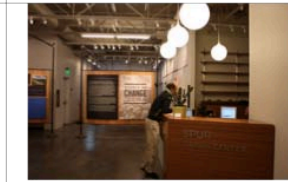
サンフランシスコ SPUR



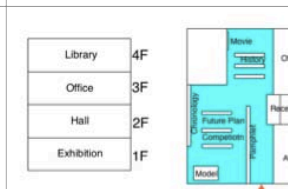
模型は小さい。



SPURの歴史



受付



	イニシアチブ	ターゲット	事業	備考
大学基盤型 ●	COPC, HUD	コミュニティ	計画、出版、講演	授業の枠から抜け出せていないものと、センターとして、独立して機能しているもの、二手に分かれる。後者の方は、より、社会的側面を重視し、効果的に活動しているセンターが多い。
CDC型 ●	Association for Community Design, Congress for the New Urbanism 全国	コミュニティ	啓蒙、施設提供	CDCは貧困層向けにAffordable Housing、Small BusinessのSupport、都市再開発における地元貧困層のサポートを行っているところが多く、狭義の都市デザインからは外れるところが多い
民間専門家型 ●	AIA, APA, ULI, 財団、寄付	パブリック、市民	公共施設整備、ファンド支援、構想、計画、	多種多様である。公共施設の整備から、ファンド支援等、金融系のセンター、など様々な存在するが、幅広い連携を取る組織が多く、その中でも、公共性が強く、影響力の強い組織は、寄付金より、運営を可能としている。
プロジェクト型 ●	市、都市計画局、経済	DT, River Walk, BF	プログラム	市を主導に、コミュニティインボルブメントを目的とした組織。事例によっては、企業、大学など、幅広い業界との連携を取っている。市長の意向が重要。
社会学型 ●	全国	特定コミュニティ	啓蒙	人種差別問題等社会問題の改善を目的とした組織

民間の専門家組織、AIA（米国建築家協会）等による地域に密着した活動支援と、連邦政府による助成、民間財団による資金のフローにより、持続的な民間組織や大学の専門家集団による都市構想への関与が可能となっている。

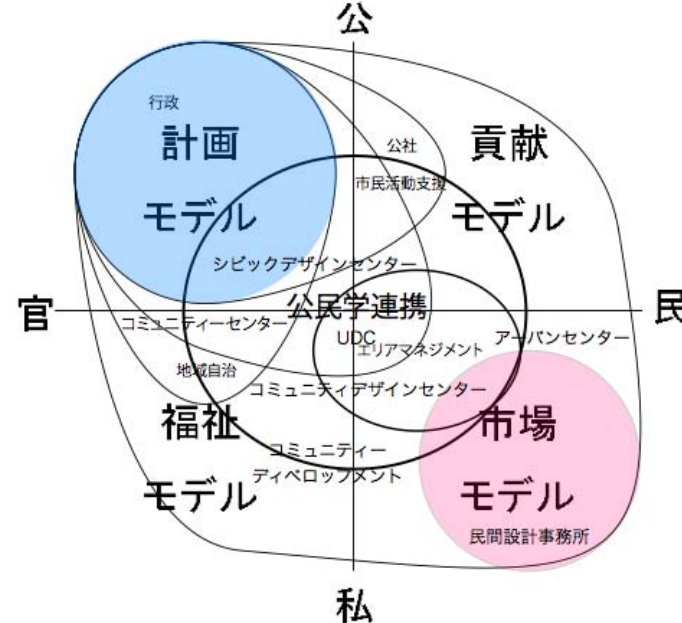
国別分析 1 アメリカ 工学院大学准教授遠藤新、東京大学博士課程関谷進吾

海外研究会：名古屋大学准教授村山顕人



日本のまちづくりセンターの体制の属性

市民主体



- ① 民間の専門家が連携し、プランニング・デザインに責任を持つ構図。NPOの位置づけ 501(c)(3)
- ② 多様な資金フロー。民が部分公共化→地域の教育・啓蒙活動。専門性の推進。
- ③ 実は、欧州の影響が大

海外研究会：フランスにおける都市計画概要及びUDCに関して 東京大学博士課程 江口久美

フランスのUDCは、以下の4つに類型される。

- ・情報発信型
- ・啓蒙教育型
- ・計画立案型
- ・プロジェクト支援型

非営利の目的を持った独立団体としての形式は、米国のUDCなど世界の先進事例として参考にされている。その代表事例がパヴィヨン・ドゥ・ラルスナルである。特に、SPURが公共に開かれた場として参考にしたとされている。

フランスのアーバンデザインセンターは、主に行政が主体になり、市民へ都市計画に関する情報発信や啓蒙教育の場として設置されたタイプと、公社の形をとる計画立案を行うタイプに大きく分けられる。前者に関しては、パリ市による、パリ市都市計画及び建築情報・資料・展示センターやニース市による都市計画・建築フォーラム、アソシアシオンの運営によるものとしては建築・遺産シテ等が挙げらる。

Pavillon de l'Arsenal (Paris)



1988年にオープン。この施設は、最も早くオープンした自治体の本格的な都市計画情報発信基地。運営はパヴィヨン・ドゥ・ラルスナル(Pavillon de l'Arsenal)というアソシアシオン(Association)が行っている。

パヴィヨン・ドゥ・ラルスナルとAPURは1901年法に基づくアソシアシオンであり、非営利の目的を持った独立した団体である。三者の関係は、お互いの使命を尊重しながら築かれている。APURはパリ整備に関して作業し、熟考する。パヴィイオンは、パリの未来のプロジェクトの情報を発信し、建築と都市に対する人々の関心を引き覚ます役割。



英国のアーバンデザインとCABE スペースシンタックス・ジャパン(株) 高松誠治 氏

CABEの方向性として、以下の3点が挙げられる。

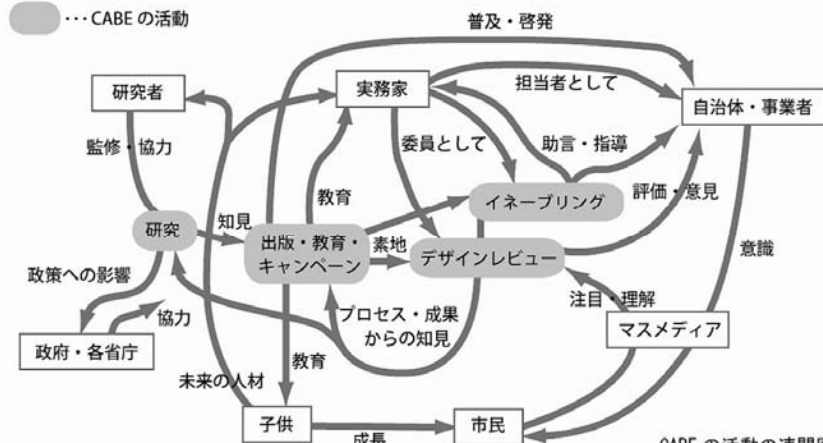
- 1 市民参加、地球環境問題への対応等々
- 2 首長、政治家等、ターゲットを絞った、教育・啓発活動
- 3 各地域主体の活動を支援し(リージョナルパネルには州レベルのパネル、自治体レベルのパネルの二つがある)、地域主体のデザインレビューを行う

・地域のデザインレビューは、各地のアーバンデザインセンター(各地のアーキテクチャーセンター)が主体となって運営している。

・地域のデザインレビューパネルの設置状況数としては、

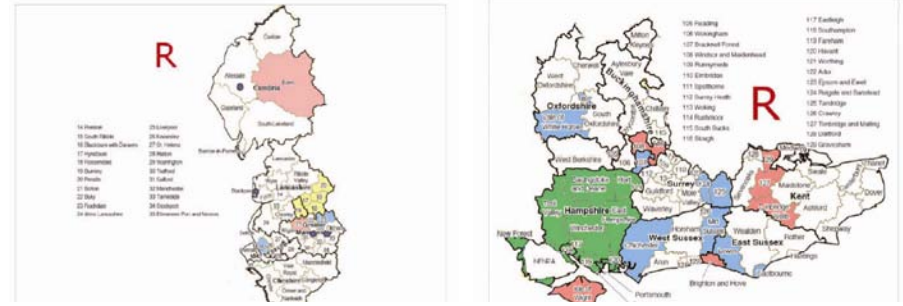
リージョナル=6、サブ・リージョナル=9、複数ローカル=3、ローカル=63としている。Kent Architecture Centreが、South East Regional Design Panelを運営しているなど、各地のセンターがパネルの拠点として機能している。

・アーキテクチャーセンターは主にハードのデザインについて扱っており、まちづくり、ソフト、文化振興的なものは、別の組織が各地域に存在しており、キャンペーン活動などを展開している。



英国建築都市環境委員会

CABEの活動の連関図
 <筆者(高松) 試案>



左：北西部デザインレビューパネルプロット図 右：南東部デザインレビューパネル

Regional panels	Centers
South East design review panel	Kent Architecture Centre
East of England design review panel	Inspire East, the regional centre of excellence for the East of England
South West design review panel	Creating Excellence, the regional centre of excellence for the South West
West Midlands design review panel	MADE, the Architecture Centre for the West Midlands
East Midlands design review panel	Opun, The Architecture and Built Environment Centre for the East Midlands
North West design review panel	Ignite, the regional centre of excellence for sustainable communities
Yorkshire and Humber design review panel	Integreat Yorkshire

各リージョナルパネルと各センターの名称

国別分析 4 日本 柏の葉国際キャンパスタウン構想事務局:都市環境研究所 作山

・建築や都市計画を総合的に取り扱うアーバンデザインという領域は、一部の先進的な地域のみにおいて取り組まれているのが実情である。

・多くの都市でまちづくりセンターと呼ばれる施設が設置されている。まちづくりセンターは、その設立動機や前述の設立支援の主体の違いから、以下のタイプがある。

- 市民交流型
- 市民活動支援型
- まちづくり提案型
- 調査研究型
- 大学連携型
- 地域管理型

・住民、行政、又は大学等の複数の主体が関わる現状のまちづくりセンターとしては、市民・行政交流センターや市民活動支援センター型が多く、行政主体の都市シンクタンクや大学主体の大学スタジオなども各地で増えているが、まちづくり提案や空間デザイン提案を行うまちづくりセンターやアーバンデザインセンターとしては、わずかである。

全国のまちづくりセンターの分類

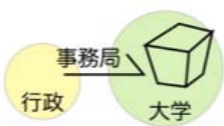
センターの分類				機能
アーバンデザインセンター	大学スタジオ	まちづくりセンター	市民活動支援センター	①まちづくり情報提供 ②まちづくり推進啓発(広報出版) ③まちづくり交流
			コミュニティセンター・交流センター等	④まちづくり活動(団体)支援・助成 ⑤人材育成(研修等) ⑥まちづくり提案(提案制度)
		都市シンクタンク		⑦調査・研究 ⑧都市政策提案
				⑨教育 ⑩空間デザイン提案
				⑪センター 他施設等の管理運営
エリアマネジメント(地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上するための、住民・事業主・地権者等の主体的な取り組み)				⑫エリアの管理運営 ⑬ファイナンス ⑭事業主体

UDC会議 基調講演：韓国中央大学建築学科 李政炯 副教授

- 開発事業・都市政策型
- 活動支援型
- 自治体主導型
- 市民団体主導型
- 大学主導型
- 義務化による支援センター



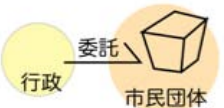
清州
大学基盤



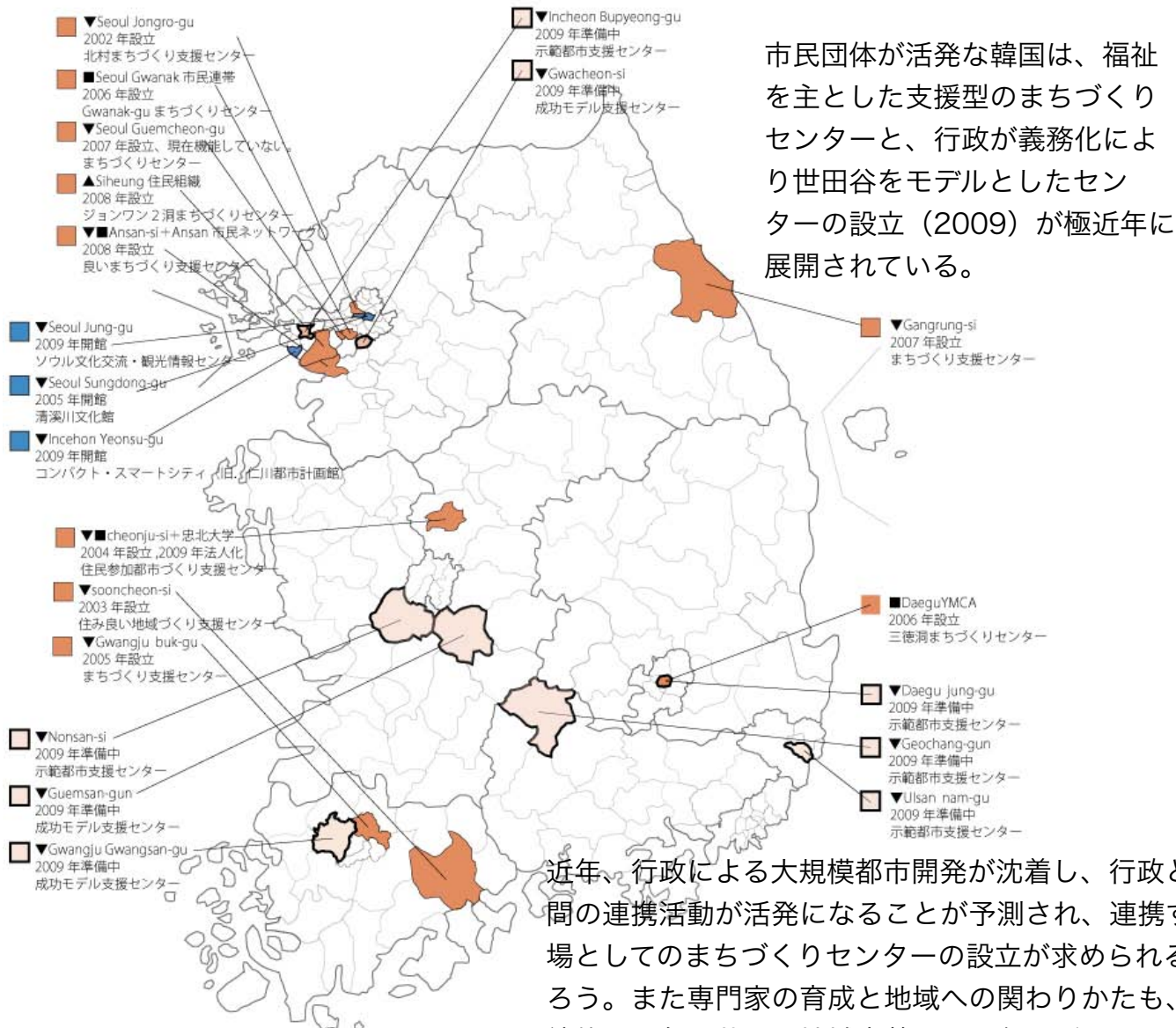
光州
行政
(市)



鞍山
市民福祉
YMCA



大邱
市民団体



市民団体が活発な韓国は、福祉を主とした支援型のまちづくりセンターと、行政が義務化により世田谷をモデルとしたセンターの設立（2009）が極近年に展開されている。

近年、行政による大規模都市開発が沈着し、行政と民間の連携活動が活発になることが予測され、連携する場としてのまちづくりセンターの設立が求められるだろう。また専門家の育成と地域への関わりかたも、持続的な関与と共に、地域密着である必要がある。

UDC会議 基調講演：台湾台北市都市更新処長：林 崇傑

- ・台北市では、都市を構想／デザインし地域の教育啓蒙を促すアーバンデザインセンターは存在していないのが実情であるが、まちづくりの事業や活動、都市デザイン審議(デザインレビュー)を通して住民参加や官民協働を実践しているといえる。
- ・近年、アーバンデザインセンター的な機能を持つ施設を設置する動きがある。

台北市まちづくりセンター



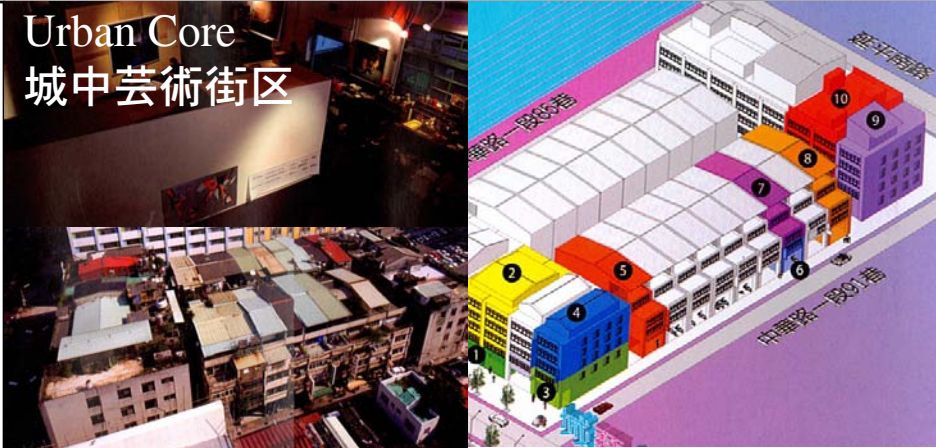
- ・2009年1月15日に仁安医院を再生利用
 - ・日本の世田谷や神戸の事例を参考
 - ・スペースを低料金で貸し出し
 - ・運営者：台北市都市發展局
- (都市計画や地区まちづくりの専門家が自立する契機を目標)

主活動：

- (1) 周辺地区の支援・諮問・サポート、
- (2) まちづくりの技術や経験の交流、
- (3) 地区まちづくりの研究、
- (4) 地区の情報の統合と整理、
- (5) 行政と民間の仲介である。

- 1階：展示スペース、
コミュニティコンサルタントサービスセンター、資料スペース
2階：メディアセンター、講演会場、ディスカッションルーム、
会議室、サービス空間、オフィス

Urban Core
城中芸術街区



- ・2010年より、台北市旧市街地の一街区に、芸術拠点が設立
- ・アートや建築、都市、映像の団体向けに、ある特定街区の空き家をJUT都市開発団体より無償借用(2011年9月期限)
- ・Zhonghua通りと、Yanping南通りに挟まれた街区であり、台北市の旧市街地の中心地区に立地しており、「Urban Core」都市の中核という名称を持っている。

対象団体：

- ① アートを領域とした法人であること、
- ② アーバンデザイン、建築教育を推進する団体であること、
- ③ アート、パフォーマンス、ビジュアルアート、等を創造する団体であること、
- ④ パフォーマンスアートの団体、
- ⑤ 映像編集。現在は、10の団体が参加している。

コミュニティ計画サービスセンター

- ・2001年から、空間に関する専攻がある大学は、専門団体を各行政区に入る事業を推進
- ・コミュニティサービス工作者として、住民に関連する学習機構を提供し、住民と協力と協調し、地区発展計画を共に作成する。

・公民の共同の動きと、学のコミュニティへのアプローチ(台北市特有の密なコミュニティへの関与と、アートの推進、双方のアプローチからのセンタの初動)